

新・災害対策委員会開催

第10回 新・災害対策委員会

2023年10月31日(火) 14:00~15:30 会場+オンライン開催

第10回新・災害対策委員会を開催し、今年度の活動進捗と今後の活動の方向性について報告・議論を行いました。

今回の委員会では議論項目として、生団連内外での連携について参加者の皆様と意見交換を実施し、23年下期の活動計画に則って活動していくことが決議されました。今後も生団連災害支援スキームによる支援実施を目指し、会員間の連携を強化して参ります。



5

第9回新・災害対策委員会振り返り

決議事項
23年度活動計画(案)について
 ①生団連内外への防災意識啓発の実施
 ②新・災害支援スキーム構築に向けた分科会の発足を、次回理事会にて発議
⇒理事会承認を受け、第1回企業分科会を8月に開催

●23年度活動スケジュール

16

【拡大支援スキーム】企業分科会 概要説明

1. 分科会の目的

・参加企業が持つ被災地支援に対する知見の共有や、既存の生団連支援スキームが抱える課題を洗い出し議論することで、**大規模災害発災時により実効性のある物資支援体制**を構築する。

2. 具体的成果物

①大規模災害発災時における、被災地への物資支援までの**行動ガイドライン**
 ②**サブライチエオン全体**での支援スキーム

3. 成果物のイメージ

・15ページ程度のガイドラインを策定。
 大規模災害時には、このガイドラインに基づき、被災地支援を実施する。

4. アウトカム

・大規模災害発災時に**迅速かつ実効性のある支援**が可能となり、国民生活・生命を守ることができる。
 ・経済活動と並行した、**持続的なCSR活動**を行える。
 ・大規模災害発災時の**個社の対応に繋げられる。**

【出席者のご意見(一部抜粋)】

- 災害の規模によってできる対応を予め洗い出し、スモールスタートでも良いので支援実績を重ね、ブラッシュアップしていくことが重要である。
- 全国に拠点を持っている企業と連携して平時から支援物資の備蓄を行えるスペースを確保することで、発災時の迅速な支援を行う事ができるのではないかと。
- 企業分科会では、発災時に連携をして支援を行うために、どの業種・企業がどんな役割を果たすのか、また、情報を一本化するにはどう動けばよいかなどを議論して欲しい。